



果樹生育情報

VOL. 6

9月

令和4年9月26日
栗原農業改良普及センター
TEL 0228-22-9437

<りんごの生育状況>

表1 9月9日現在の生育状況

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	70.1	71.1	67.2
	平年(mm)	70.1	73.1	71.2
	平年比(%)	100.0	97.3	94.4
ヨコ径	本年(mm)	81.7	81.6	75.2
	平年(mm)	78.2	81.4	77.3
	平年比(%)	104.5	100.3	98.1

9月9日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、平年比98.1%~104.5%(ヨコ径)と平年並みから平年をやや上回る肥大経過となっています。



宮城県農林産物品評会

来る令和4年10月22日(土)~23日(日)、せんだい農業園芸センターみどりの杜(住所:仙台市若林区荒井字切新田13-1)にて、宮城県農林産物品評会が開催されます。

本年も昨年の降霜に引き続き、ところによっては降雹の被害がありましたが、災害に負けじと皆さんの技術が光っている年になっているのではないのでしょうか。

是非、自慢のりんごを御出品くださいますようお願い申し上げます。(出品の詳細は下記)

- 出品物:果実(りんご, なし, ぶどう)
(その他の出品物については御相談下さい。)
- 出品規格:りんご, なし:5kg段ボール詰め+1個(食味確認用)
ぶどう:2kg段ボール詰め+半房(食味確認用)
- 出品申込:令和4年10月5日(水)まで、普及センター高田(22-9437)まで、お電話で申し込みください。
- 搬入日時:令和4年10月21日(金) 午前中普及センター職員がお預かりに伺います。
- 必要事項:後日お渡しする申込書に、住所、氏名、電話番号、品目名、品種名を御記入願います。
- その他:①出品物は、県内児童福祉施設に寄贈させていただく予定ですので、無償で提供いただくことを御了解の上、御出品ください。ただし、返却は可能なので、返却を希望される方は別途御相談ください。
②自らが作成したPRパンフレット等(宅配注文書等を含む)を配布できますので、お申し込みの際、御相談ください。

除草剤の秋冬期処理による春作業の効率化

果樹農家にとって春は摘蕾、摘花、摘果といった様々な作業が重なる季節です。これらの作業は品質に大きな影響を及ぼすため適期の作業が求められますが、この時期には草生管理も行わなければならない作業が集中します。

そこで、比較的時間に余裕のある秋冬期に除草剤を散布することで、春作業に集中でき果樹の品質向上に役立てることが期待できます。

さらに秋冬期の除草剤処理のメリットとして、樹幹下の雑草を抑制することでダニの密度を低下させることができるほか、りんごは落葉後のためドリフトによる薬害のリスクが小さくなり、散布効率をよくすることができます。

<得られる効果>

翌年春の雑草を抑草し、刈り取りを1ヶ月遅らせることで労力の軽減が図られます。

<具体的技術>

実施時期：12月上旬から翌年3月上旬までで、圃場に積雪がないとき

使用薬剤：ラウンドアップ)* またはバスタ液剤)*

注意点：①りんごの収穫終了後に行いましょう。

②休眠枝に薬剤が付着すると薬害が発生することがあるので、樹冠下で散布するときには枝にかからないように注意しましょう。

③スギナ、ヨモギ等、冬期に地上部がほとんど生育していないものに対しては効果が劣るので、これらが多い圃場では春夏期の雑草防除を主体としましょう。



*)最新情報で農業登録を確認のうえ、使用してください(農業登録確認:令和4年9月26日現在)